

# 名古屋大学大学院国際開発研究科公開講座募集要項

主催：名古屋大学大学院国際開発研究科

## 「国際教育開発論 理論と実践」

発展途上国の教育を巡る国際思潮の焦点は、1960年代から1980年代までの職業技術教育、高等教育から、1990年にタイのジョムティエンで開催された「万人のための教育世界会議」を起点とする初等教育、基礎教育重視へ転換してきました。そして、2000年にセネガルのダカールで開催された「世界教育フォーラム」において、2015年までの初等教育の完全普及と教育における男女格差の解消が「万人のための教育」に関する国際的な課題とされました。これらの課題は、貧困解消、健康、環境等の課題と並び、21世紀の国際社会が共有する「ミレニアム開発目標」に含まれています。その一方で、グローバル化の深化と国際競争の激化、情報通信技術の進歩等は職業技術教育や高等教育の重要性の見直しを促しています。

「国際教育開発論」は、このような国際思潮を背景に確立されつつある新たな分野です。一般に、開発における教育分野を指し、政府・国際機関から非政府組織（NGO）・非営利団体（NPO）に至るまで、様々なアクターにより発展途上国の教育の整備や発展を目的として行う活動であり、それらを対象とした政策研究や方法論、比較・事例研究、国際教育協力を含む実践論、等が国際教育開発研究ないし国際教育開発論と位置づけられます。

その中で、『国際教育開発論』（黒田一雄・横関祐見子編、有斐閣）は、新進気鋭の研究者や実務者によって現在の国際教育開発論の到達点を示す標準的な教科書として刊行されました（2005年5月）。本書は、正にこの分野における待望の書であり、必読書です。名古屋大学国際開発研究科の教員を含む執筆陣が、自ら取り組んできた「教育と開発」に関する方法論と研究手法、教育段階別の課題や国際教育開発のグローバルな課題について、包括的に解説されています。

この講座は、『国際教育開発論』をテキストとして、本書の執筆陣によって行われる導入シンポジウム、講義（9回）、総括シンポジウムにて構成されています。シンポジウムでは、執筆陣による発表とパネル討論が予定されており、生の経験に触れつつ、国際教育開発論の潮流とアプローチ（導入シンポジウム）、国際教育開発論の新たな展望（総括シンポジウム）についての議論を行います。また、教育段階別の課題、国際教育開発のグローバルな課題、及び研究方法論につき、執筆陣がそれぞれの講義を担当します。

本講座の主な対象は、大学生、大学院生、研究者、教師、NGO/NPOスタッフです。本講座を受講されることによって、「国際教育開発」の理論と実践につき理解・知識・洞察を深めて頂けるものと確信しています。

### 内容（予定）:

#### 《導入シンポジウム - 国際教育開発論の潮流とアプローチ》

#### 《講義》

- (1) 教育段階別の課題
  - 初等教育
  - 中等教育
  - 高等教育
  - 識字・ノンフォーマル教育
  - 産業技術教育・職業訓練
- (2) 国際教育開発のグローバルな課題
  - ジェンダーと教育
  - 教育と健康
- (3) 方法論と実践
  - 教育改善の為の分析手法
  - 教育現場における調査技法

#### 《総括シンポジウム - 国際教育開発論の新たな展望》

### WWWページ:

<http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/global/social/op-seminar/index.html>

本要項はWWWページからもダウンロードできます。

**開催期間** 10月15日(土)から12月17日(土)  
 10月15日(土) 10:00～17:00 (導入シンポジウム - 国際教育開発論の潮流とアプローチ)  
 10月21日(金)から12月16日(金)までの毎週金曜日 18:00～20:00 (講義)  
 12月17日(土) 10:00～17:00 (総括シンポジウム - 国際教育開発論の課題と展望)

原則として、全日程、参加できることを受講の条件とさせていただきます。

**受講対象者** 大学生・大学院生・研究者・教師・NGO/NPO スタッフなど。一般の方も受講いただけます。  
**担当講師** 廣里恭史, 岡田亜弥, 北村友人, 三輪千明 (国際開発専攻教育開発講座) 及び『国際教育開発論』執筆陣  
**開催会場** 名古屋大学大学院国際開発研究科棟・多目的オーディトリウム

**募集人数** 70名  
**受講料** 10,200円 (テキスト・資料代を含みます。)  
**募集期間** 9月20日(火)から9月30日(金) (先着抽選とします。)

**申込方法** 郵送に限ります。  
 受講希望の方は、「受講申込書」に氏名・年齢・住所・電話番号・電子メールアドレス・勤務先・職業を、「受講票・領収証書・領収証書(控)」には氏名をそれぞれに明記の上、受講料(普通為替)及び返信用封筒(80円切手を貼付)を添えて書留郵便でお申し込みください。

なお、書留封筒の表面左下に「公開講座受講申込」と朱書願います。

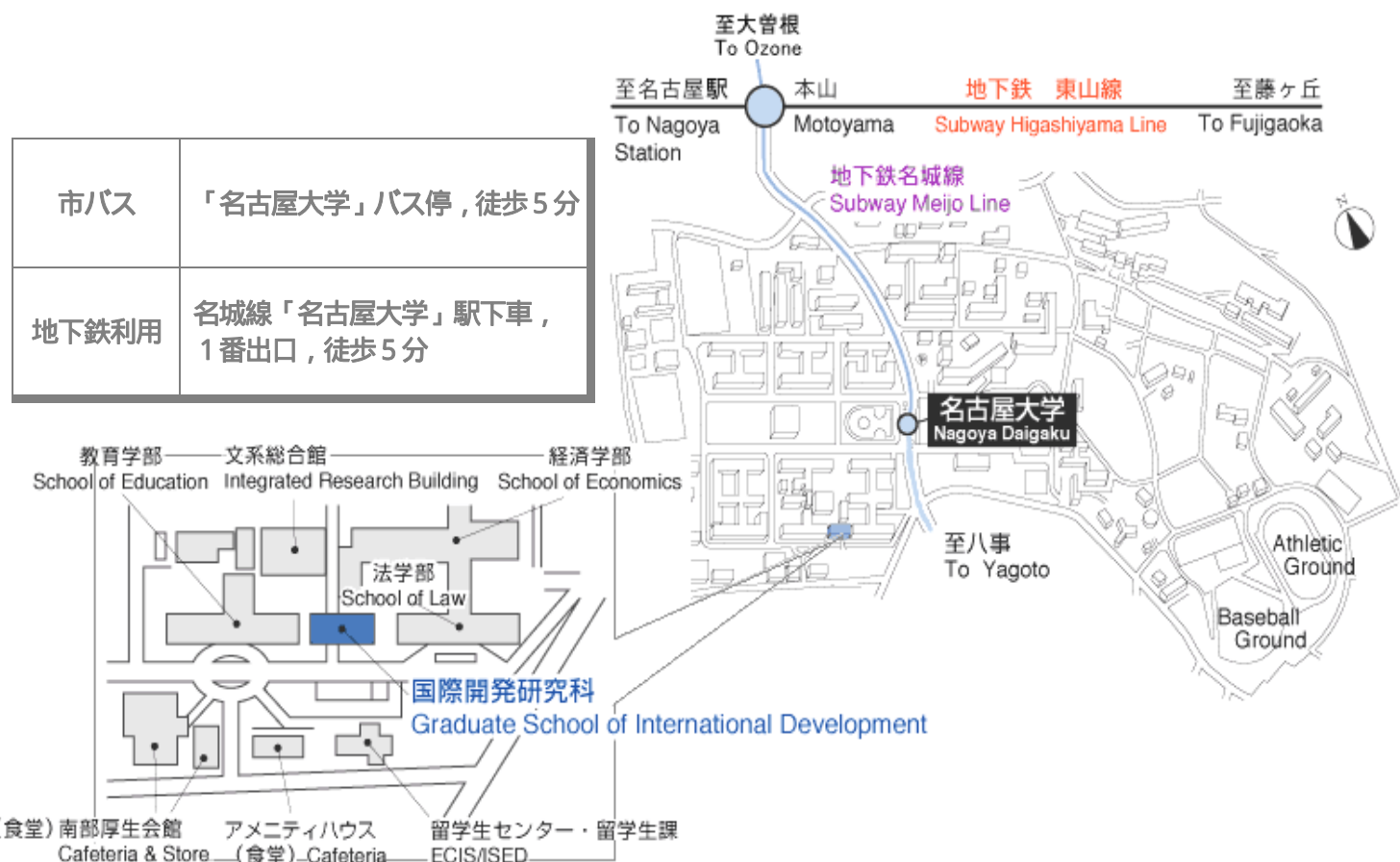
**受講許可要項の請求** 受講を許可した方には、受講番号を付した「受講票・領収証書」を折り返し返送します。  
 本募集要項の必要な方は、返信用封筒(80円切手貼付のこと)を同封の上、下記申込先まで請求してください。また、<http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/global/social/op-seminar/index.html> からダウンロードいただけます。

**申し込みと問い合わせ先** 名古屋大学大学院国際開発研究科事務室  
 住所 〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
 TEL: 052-789-4952・4953 [AM9:00 - PM5:00] FAX: 052-789-4951

**ホームページ** <http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/global>

**個人情報** 「受講申込書」及び「受講票」に記載される個人情報は、当公開講座を開講するために必要な業務を行うために利用いたします。それ以外の目的のために利用、又は提供することはありません。また、これら保有個人情報の管理や利用は「名古屋大学個人情報保護規程」に基づき適正に取り扱います。

## 会場案内図



# 受講申込書

「国際教育開発論  
- 理論と実践 - 」

受付番号	受付年月日

の欄には記入しないでください。

フリガナ		年	
氏名		年齢	歳
	(男・女)		
住所	(〒 - )	番	
	☎( ) - 番		
電子メールアドレス			(読み易く書いて下さい。)
勤務先又は学校名(職業)	( )		

----- ✂ ----- 切り取り線 ----- ✂ -----

## 領収証書

平成17年度 名古屋大学大学院国際開発研究科公開講座

### 受講票

受講番号	氏名

の欄には記入しないでください。

平成17年度	第 号	国立大学法人名古屋大学
(納入者)		
納入金額	¥10,200	
ただし公開講座受講料		
平成 年 月 日領収しました。		

納入された受講料は、いかなる場合でも返還できません。

----- ✂ ----- 切り取り線 ----- ✂ -----

平成17年度 名古屋大学大学院国際開発研究科公開講座

## 領収証書(控)

平成17年度	第 号	国立大学法人名古屋大学	納入金額	¥10,200
(納入者)			ただし公開講座受講料	
			平成 年 月 日領収しました。	

納入者欄にご自分の氏名をご記入下さい。